

横浜ウォーキング 「原三溪ゆかりの地をたずねて」を開催しました

【行程】

- 野毛山（原・茂木邸跡）
- 馬車道（ガス灯・旧横浜興信銀行・旧横浜正金銀行）
- 旧生糸検査所
- 昼食（勝烈庵）
- 弁天通り（亀屋原合名・野沢屋茂木商店跡）
- 本町通り（中居屋重兵衛・サムライ商会・開港記念会館・岡倉天心）
- 日本大通り（三井物産ビル・開港資料館）
- 海岸通り（英一番館跡、山下公園・インド水塔）



本町小学校のガス灯と記念碑

開港以来、生糸貿易によって発展した港都横浜。関東大震災の際、復興会会長の原三溪は「生糸は横浜の生命、横浜は我々の生命」と説き、横浜の復興に心血を注ぎました。

今回は、近代横浜の代表的な生糸貿易商人であった亀善こと原善三郎と三溪・原富太郎（原合名会社）が活躍した横浜関内地区をたずねました。

ゆかりの地を見聞することで、横浜の屋台骨を築き近代化と発展を支えてきた人々の思いに触れることができました。またその足跡をたどることで、横浜の今を実感できたように思います。

今回の「横浜ウォーキング」は、研究会会員と一般からの参加者 40 名（4 班）が、案内役の会員と横浜シティーガイド協会のご協力も得て、楽しくも有意義なフィールドワークになりました。「さらに勉強して、次回も開きたい」との声も聞かれました。（小林）



野毛山住宅亀甲積擁壁と浮世絵を見比べてみましょう

象の鼻パークにて。赤レンガ倉庫が見えます。

